

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・5月に売場の一部改装を控えており、さらに魅力的な売り場に変更できるので、売上に関しては微増で推移できるのではないかと見込んでいる。
		家電量販店（店長）	・電力自由化で電気代を見直す家庭が見受けられ、より良い省エネ製品を求める傾向が強い。
		乗用車販売店（役員）	・マイナーチェンジ車が数車種計画されているので配車の巻き返して良くなっていくはずだが、熊本地震の影響がわからない状況だ。
		住関連専門店（役員）	・今回は前年に比べて販売量や来客数が著しく回復傾向にある。消費税増税の計画は不透明ではあるが、耐久消費財や嗜好品を取り扱う当社に関しては、増税前の住宅着工申請などのあおりを受け、良い方向へ向かうのではないかと考えられる。
		都市型ホテル（役員）	・宿泊、レストラン、婚礼部門は前年度と同程度で推移し、一般宴会において大型のコンベンションの開催があるため、全体ではやや良くなる。
		旅行代理店（支店長）	・旅行業は2020年の東京オリンピックに向けて、景気が良くなると見込んでいる。
		タクシー運転手	・観光客は依然として増えている。週末を中心に全国的な会合もあり、入出が予想されることから、利用客が多くなると見込まれる。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売が開始されると予想され、買い控えている客も少しは購買につながると見込まれる。
		住宅販売会社（従業員）	・完工高は昨年の繰越受注額と今年の受注額累計で決算数字の見通しは立った。ただし、情報量は下降状態にあり消費税増税の行方如何にも左右されるが、潜在需要はある。情報入手に向けた取り組みで受注増につなげたい。
住宅販売会社（従業員）	・客の動きは一定程度あること、また安価な商品だけでなく高級な商品を検討する客も出てきていることから、契約件数は変わらないものの契約金額は増える。		
変わらない		商店街（代表者）	・目立った動き、変化はない。
		商店街（代表者）	・都会はどうかかわからないが、地方では消費は冷えきっている。1家庭に1人はフリーターの時代であり、ちょっとやそとでは回復しそうな気がしない。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・地元客が減っているが、近くの商業施設などのオープンにより来店が見込まれる。今後はその影響もあり、景気的には変わらないのではないかと。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・今年は現在のようなペースで推移するのではないかとというのが業界全体の声である。熊本地震がまだまだ収束せず、今後観光自粛の流れにならないかという危惧もある。
		百貨店（売場主任）	・4月下旬、市内中心部にリモデルした商業施設が開業した。昨年秋開業の商業施設と合わせて相乗効果を発揮し、広域からの集客がなされることに期待する。
		百貨店（営業担当）	・購買動向に大きな変化はないが、熊本地震の影響を受けて自粛ムードになっている現状から、少し持ち直しの動きになる。
		スーパー（店長）	・2～3か月先は、環境も含めて状況的には変わらない。ただ、店として色々な企画やイベントで客に喜んでもらい、集客しながら売上をあげていく計画である。
		スーパー（店長）	・今後も農産物を中心に、熊本地震の影響が出てくるような心配がある。相場状況も変化してくることが予想されることから、先行きはみえてこないのが実情である。
		スーパー（総務担当）	・ゴールデンウィークは北陸新幹線効果が続いており、観光客は昨年より増える可能性が高い。また、熊本地震で一部の野菜の品薄などがあり、生鮮品の値上がりが見込まれる。しかし、スーパーマーケットとしては影響度は低く、お盆までは横ばいが続く。
		コンビニ（経営者）	・土曜日、日曜日、祭日の天候次第で、イベント依存の当店の数字は大きく変わるのだが、肝心の平日における劇的な変化という兆候は見当たらない。

コンビニ（店長）	・今は良くなっているが、一過性のものだと感じている。競合店舗が閉鎖したのだが、店舗が減れば新しい店舗を出そうとする人が増える。慢性的な人手不足から人件費の高騰、経営力の低下など、様々な不安要素が今後どんどん表面化していく中で、淘汰される経営者もいる。業界全体でどうなるかは読むことが困難だが、私が仕事をしている上で感じるのは、チェーン本部は伸びても地方の小さな加盟者にとって景気が良く感じられるような事由は今後考えにくいのではないかと。										
衣料品専門店（経営者）	・最近の当店店舗内の雰囲気は、政府筋のお金が回り始めたのではないかとというムードがある。また、建築土木関係や観光は引き続き好調のようであり、長く続いてくれたら良いと期待している。										
家電量販店（店長）	・携帯電話の販売実績は改善傾向にあり、白物家電も好調に伸びているが、パソコンなどのデジタル家電の販売実績が悪化している。										
乗用車販売店（経営者）	・好転する材料が見つからない中で大手自動車メーカーの燃費不正問題が出てきており、業界全体での不安材料が多くなった。										
乗用車販売店（従業員）	・特に大きなイベントなどの予定もなく、状況が変わる大きな要因がない。										
自動車備品販売店（役員）	・ゴールデンウィーク期間が長いと、車を使用しての移動も多く予想され、ガソリンやロングドライブ用品の動きは活発になると予想される。しかし、連休明けの反動も大きいと判断する。										
その他専門店〔酒〕（経営者）	・4月は最低ということで、もうこれ以上悪くならないと考え、変わらないとした。来月はゴールデンウィークもあり、酒などにお金を使うことが少なくなる。それでも、地区の学校の体育祭などの行事があり、そういう行事で少しは需要が増えるかと思っている。										
その他小売〔ショッピングセンター〕	・来店客は商品をよく見ているが、余分なものは買わない様子である。										
観光型旅館（経営者）	・北陸新幹線開業効果は薄れつつも、予約状況から判断すると5月以降も一昨年以上の売上を確保できそうである。										
旅行代理店（所長）	・今後の景気の不透明感がぬぐえない状況であり、現状と大きく変わる要因が見当たらない。										
通信会社（職員）	・契約獲得予想に大きな変動もなく、その要因も特にない。										
通信会社（営業担当）	・販売量は若干増えているが、前年と比較するとやや減少傾向にある。大きな起爆剤がない限り、景気が良くなるとは考えにくい。										
通信会社（役員）	・新年度に入り、顧客ニーズに基づく商品やサービスの改善と変更を継続していく予定であり、現在の新規契約獲得数は当面維持出来るとみている。										
通信会社（店舗統括）	・これ以上来客数が減るとは思えないが、増える材料も見つからない。										
競輪場（職員）	・現状では、良くも悪くも変動する要因がない。										
その他レジャー施設（総支配人）	・景気の停滞感しかないのが現状である。										
美容室（経営者）	・熊本地震の報道に加え、株価の低迷など、明るいニュースがない。										
住宅販売会社（従業員）	・客が動いているという状況は変わらないと思われるが、結果に結びついていかない。このままの状況が続く。										
住宅販売会社（従業員）	・マイナス金利が導入されたが、客の動きに活発さが期待できない。										
やや悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街（代表者）</td> <td>・当商店街で再開発工事が実施されていることに加え、工事と関連して店舗数も減少しており、しばらくは通行量が減少すると思われる。通行量が減少すると各店舗の売上に影響するので、今後の当商店街の景気は若干悪くなる見込みである。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店〔事務用品〕（店員）</td> <td>・通販業者との競合がますます厳しくなり、価格を合わせたことで客単価が下がっている。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店〔書籍〕（従業員）</td> <td>・客の財布のひもは固く、今以上に厳しい。</td> </tr> <tr> <td>百貨店（営業担当）</td> <td>・この時期だと、夏のファッションのトレンドであるサンダルやTシャツなどの購買の動きが出てくるが、やはり客の声で多いのは不要不急のもの以外、ファッションやぜいたく品などはあまり買いたくないというものである。今手持ちのもので着回していくという傾向で、何となく消費自体が先行き不透明なのではないかという声が多く出ている。</td> </tr> <tr> <td>スーパー（総務担当）</td> <td>・家計の余計な出費を抑えるため、今後しばらく来客数が前年を下回る状況が続く。</td> </tr> </table>	商店街（代表者）	・当商店街で再開発工事が実施されていることに加え、工事と関連して店舗数も減少しており、しばらくは通行量が減少すると思われる。通行量が減少すると各店舗の売上に影響するので、今後の当商店街の景気は若干悪くなる見込みである。	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・通販業者との競合がますます厳しくなり、価格を合わせたことで客単価が下がっている。	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・客の財布のひもは固く、今以上に厳しい。	百貨店（営業担当）	・この時期だと、夏のファッションのトレンドであるサンダルやTシャツなどの購買の動きが出てくるが、やはり客の声で多いのは不要不急のもの以外、ファッションやぜいたく品などはあまり買いたくないというものである。今手持ちのもので着回していくという傾向で、何となく消費自体が先行き不透明なのではないかという声が多く出ている。	スーパー（総務担当）	・家計の余計な出費を抑えるため、今後しばらく来客数が前年を下回る状況が続く。
商店街（代表者）	・当商店街で再開発工事が実施されていることに加え、工事と関連して店舗数も減少しており、しばらくは通行量が減少すると思われる。通行量が減少すると各店舗の売上に影響するので、今後の当商店街の景気は若干悪くなる見込みである。										
一般小売店〔事務用品〕（店員）	・通販業者との競合がますます厳しくなり、価格を合わせたことで客単価が下がっている。										
一般小売店〔書籍〕（従業員）	・客の財布のひもは固く、今以上に厳しい。										
百貨店（営業担当）	・この時期だと、夏のファッションのトレンドであるサンダルやTシャツなどの購買の動きが出てくるが、やはり客の声で多いのは不要不急のもの以外、ファッションやぜいたく品などはあまり買いたくないというものである。今手持ちのもので着回していくという傾向で、何となく消費自体が先行き不透明なのではないかという声が多く出ている。										
スーパー（総務担当）	・家計の余計な出費を抑えるため、今後しばらく来客数が前年を下回る状況が続く。										

	コンビニ（店舗管理）	・パートやアルバイトの不足を社員採用で補わざるを得ず、さらなる人件費増が予想される。
	衣料品専門店（経営者）	・売上浮上のきっかけが全くみえず、先行きが見通せない。非常に暗い状況である。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・富山市中心街に映画館ができ、他県でも商業施設のリニューアルがあるなど、競合店の出店が予想される。大きなインパクトではないが広域からの集客に影響すると見込んでいる。また、昨年度オープンした競合店の影響を夏まで受けそうなので苦戦の状態が続く。一方で、当施設は車での来客が多く、北陸新幹線の利用者の増減の影響を受けにくいので、今後新幹線利用者が下降気味となっても影響は少ないと考える。
	高級レストラン（スタッフ）	・北陸新幹線開業から1年が過ぎ、前年比で数値をみるとどの数値も軒並み下がっているが、それでも開業前の一昨年までと比べると、旅行客の受注が3割は多い。
	一般レストラン（統括）	・北陸新幹線効果が弱くなり、それ以外に明るい話題が少なく、出歩く人が少なくなっている。特にフードコート内の店舗は、4月の昨年比が約7割程度であった。
	スナック（経営者）	・世界的な要因、出来事や為替などの反映があり、業種によって格差がある。工務店などは先々忙しいという話もあるが、機械関係などは落ち込んでいるとの会話がある。先々少し不透明なところがある。
	観光型旅館（スタッフ）	・予約状況を前年と比べると、4月以降では7月のみ前年を上回っている状況である。昨年は先行予約が多かったが、予約仕入れが大きく変化している。今後は間近受けをどれだけ前年数字に近づけるかの営業が重要といえる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・北陸新幹線開業効果の反動もあり、不透明である。
	タクシー運転手	・熊本地震の影響で、県外からの観光客数が少し落ちるかもしれない。今までの震災の時のようにボランティアに行く人がいて、特にこれからの夏山登山客数に影響が出るかもしれない。
	通信会社（役員）	・携帯電話ショップへの国による指導の影響で、コラボレーションによる商談が減少している。その影響からか、セールスやプロモーションに対する客の反応が鈍い。
	悪くなる	
	スーパー（店舗管理）	・競合の出店が続く、集客が他に流動することが懸念される。
	テーマパーク（役員）	・前年は北陸新幹線開業効果や様々な形で全国に対して露出された効果もあり、大幅な団体客、個人客の利用があった。しかし、今年はその状況も落ち着きをみせており、前年比でみると減少している。海外からの客も航空路線の減便や円高の影響もあり、前年と比較するとマイナス傾向にあり、全体としては来客数は悪くなると予想している。
企業動向関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-
	化学工業（総務担当）	・今後、受注が増加予定である。
	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合から、やや良くなると見込まれる。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・米国を中心とした先進国向けの輸出は依然として堅調に推移しており、為替相場も安定しつつあることから、輸出企業においては上向き基調と考える。
	通信業（営業担当）	・情報セキュリティへの関心は高く、会社を守るための投資は必要と考えている企業が多い。
	変わらない	
	食料品製造業（役員）	・販売単価が低下傾向で、数量についても減少傾向にあるものの、為替が若干ではあるが円高傾向にあるため輸入原材料の価格帯が少し下がってきている。全体的には収益力ではイーブンかと考える。
	繊維工業（経営者）	・為替が円高に振れていることもあり、輸出の先行きが心配である。また、国内市場が少し戻ってくることを期待している。
	繊維工業（経営者）	・3か月先の状況というのは、全くわからない状況である。
	一般機械器具製造業（総務担当）	・欧州市場の受注状況が不透明である。欧州市場が良くなれば、当社にとって明るい兆しがみえる。
	精密機械器具製造業（役員）	・これといって景気が上向くような話をほとんど聞かない。株価や為替の状況も不安定で、得意先も全体的には今後への不安感が漂っているところが多いようだ。
	建設業（経営者）	・国の平成28年度予算の前倒し執行が確実に実行されれば景気が良くなると思うが、まだみえてこないのでは何とも判断しがたい。
	不動産業（経営者）	・個人客は、物件紹介の問い合わせなど出てきている。また、今は法人の方で少しずつ問い合わせや交渉が出てきている。

	新聞販売店〔広告〕 (従業員)	・住宅、土地、不動産関連のチラシ出稿が伸び悩みを続けている。この業界が活性しないと、それに関連する業種も伸びないのではないだろうか。
	司法書士	・土地売却によって長期借入金を返済しても、事業を継続せずそのまま廃業するという案件もある。
やや悪くなる	プラスチック製品製造業(企画担当)	・熊本地震によるサプライチェーンの寸断などで、平常の売上はしばらく確保できない。
	建設業(役員)	・当地域では安値受注が拡大傾向にあり、今後さらにエスカレートすると思われ、受注環境は厳しさを増す。
	輸送業(配車担当)	・消費税増税などの不透明さから個人消費が上向くとは思われず、この傾向がしばらく続く。
	金融業(融資担当)	・マイナス金利政策による景気浮揚に疑問もある上に、緩和後に特別に資金需要は出てきていない。サービス業の北陸新幹線特需も今後は一服するであろう。
	金融業(融資担当)	・現在の景気状況で消費税率の引き上げが行われれば、さらに悪化するとの話も多い。
	税理士(所長)	・円高が想定外に進んでおり、外的な環境が大きく変化している状況である。このようなときには、いろいろなプランやビジネスの予定が変化したり、計画しているものが中止になったりするということが、過去に繰り返されている。現在の環境的な要因をみると、これから先は非常に不安である。
悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-
(北陸)	やや良くなる	職業安定所(職員) ・製造業中心に求人が増加している傾向にある。また、正社員の有効求人倍率も1倍を前後しており、非常に高い水準にある。
	変わらない	人材派遣会社(役員) ・企業での期間限定の派遣利用は減りつつある。紹介予定派遣、正社員採用依頼に力を注いでいる。 人材派遣会社(社員) ・求人が増えるにつれ、優秀な人材の確保・育成に取り組みを行い、マッチング率を高めるよう努める。 求人情報誌製作会社(編集者) ・大きな社員雇用の話が出てこない。 新聞社〔求人広告〕(担当者) ・人手不足の話と、求人募集が一通り終わったとする話とが半々で聞こえており、昨年あった求人についての渴望感はなくなっているようだ。この点からは大きく変化することは考えにくい。ただしこの後、熊本地震の復興需要のために人手が九州に取られる可能性はあり、バランスが崩れる可能性はある。 職業安定所(職員) ・新規求人数、新規求職者数の動きに大きな変化はみられない。 職業安定所(職員) ・業績が良くなるという事業所がある一方で、依然として先行きを不安視している事業所もある。 民間職業紹介機関(経営者) ・介護職は人手不足が続いているが、その他の職は一気に増えることはない。 学校〔大学〕(就職担当) ・企業の人事担当者と面談しているが、人手不足となっている。今後の経済状況に不安が残るが、この傾向は変わらない。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-